

過去最高を記録した外貨準備高と 貿易収支の改善が示唆する人民元の行方

中国人民銀行が先週発表した2009年12月の外貨準備高は、前年と比べて約4,530億米ドル増加し、約2兆3,990億米ドルと過去最高を記録しました。これに先立って発表された12月の貿易統計では、輸出が前年比+17.7%と1年2ヵ月ぶりにプラスに転じ、今後の貿易収支の先行きの明るさが顕著となってきました。

昨年の中国は、米国からの人民元切り上げ圧力に対して、輸出の改善の遅れを一つの理由にして、米ドルに対する人民元の上昇を容認してきませんでした。貿易収支と外貨準備高の推移を見ると、貿易黒字が低位にとどまっているにも関わらず外貨準備高の増勢が強く、人民元の上昇を抑えるために当局が相当な為替介入を行ってきたことがうかがわれます。

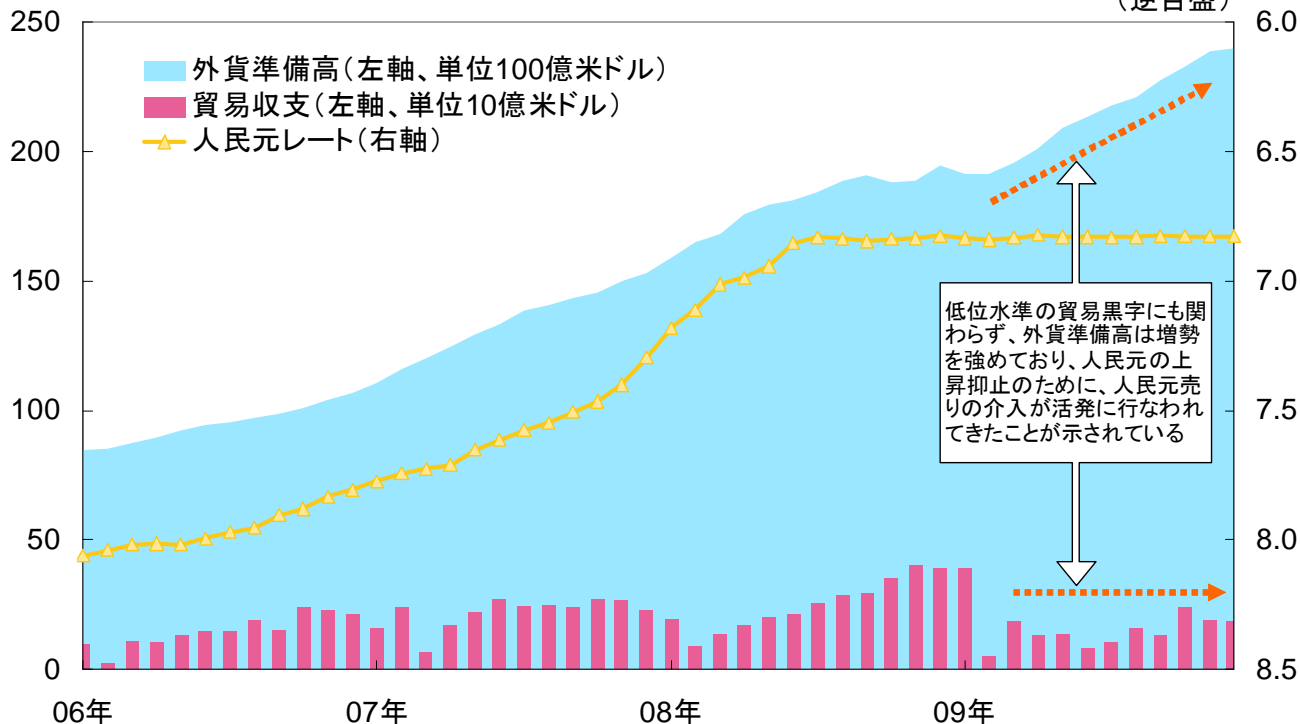
中国の金融当局は足元、手形入札の利回り引き上げや預金準備率の引き上げなど、金融政策の照準を、景気刺激一辺倒から不動産バブルやインフレの回避をも睨んだ方向へと、舵を切り始めています。輸出の改善によって内需・外需両面から景気の持続的回復の道筋が整い、経済の先行きに自信を持ち始めた当局が、今後、為替についても、人民元の上昇を抑止する政策を修正する条件が徐々に整いつつあると見ることもできます。

中国の外貨準備高と貿易収支、人民元の推移

2006年1月～2009年12月

(人民元/米ドル)

(逆目盛)



低位水準の貿易黒字にも関わらず、外貨準備高は増勢を強めており、人民元の上昇抑止のために、人民元売りの介入が活発に行なわれてきたことが示されている

※中国人民銀行、中国税関総署など、信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。